

翻訳にあたってのヒント

その 58

定冠詞の略式用法

定冠詞「the」は、正式な (official; formal) 用法かあるいは略式な (unofficial; informal) 用法かで言い表す際に、略式の言い方では省略されることがよくある。

例えば、「日本人と英国人は共通点が多い気がする」という英語が、“I just feel Japanese and British have so much in common.” と略式で言い表されることがある。これは「会話英語 (colloquial English or spoken English)」の一大特徴となっているようで、他には、「アメリカ (合衆国)」のことを “(the) United States” あるいは “(the) U.S.” と言ったり、「フィリピン (共和国)」のことを “(the) Philippines”、「ロンドン大学」のことを “(the) University of London”、「オランダ (王国)」のことを “(the) Netherlands” と言ったりするなど、本来 the がつくはずの言葉が、the を省略して表現されるということがある。

最初の文は、「日本国民全体」や「英国国民全体」を指して言うなら、“I just feel the Japanese and the British have very much in common.” と定冠詞を付けるのが正式な表現である。だが、それほど厳密な意味ではなく大雑把に「日本人」や「英国人」を指して言うのなら、定冠詞は省略可能だとされている。

ただし、上記の例はあくまでも話し言葉上での用法であり、翻訳の場合にはしっかりと「the」を付けるよう肝に銘じたいものだ。

以上、第 58 回目終わり。